

|        |                                    |             |  |
|--------|------------------------------------|-------------|--|
| 学校教育目標 | ○ 助け合う子<br>◎ 考える子【重点目標】<br>○ きたえる子 | 【目指す学校像】    | ○児童が、「学びの実感」「協働意識」「心と体の元気」を感じる学校 ○児童が、自己決定しながら「なりたい自分」を目指す学校   |
|        |                                    | 【目指す児童・生徒像】 | ○学ぶ楽しさを知り、自己調整しながら学ぶ子ども ○自他を大切にし、しなやかに、共に伸びようとする子ども ○心と体に興味をもち、たくましく生きようとする子ども ○「なりたい自分」を目指し、自己決定ができる子ども |
|        |                                    | 【目指す教師像】    | ○温かな教育をする教師 ○子どもを信じ、子供の思いを大切にする教師 ○共成小の教育に貢献する教師 ○マネジメントできる教師  |

| 領域    | 中期経営目標<br>(3年間)  | 短期経営目標<br>(1年間)                 | 具体的方策  | 取組指標                             | 評価 | 成果指標                        | 評価 | 自己評価結果の分析   | 学校関係者評価 | 評価   | 次年度への改善策 |
|-------|--|---------------------------------|--|----------------------------------|----|-----------------------------|----|---|---------|--|----------|
| 確かな学力 | 児童が主体的に学ぶ学習者中心の授業改善により、「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実を図る。      | 教師の「ファシリテーション力」UP               | ・児童に委ねる覚悟<br>・学び方の指導<br>・導入の工夫<br>・見直し・ゴールの明確化             | 4 全教員が4項目全て取り組むことができた。           | 2  | 4  すすんで学習に取り組む…9割以上         | 3  | 9割に惜しくも届かなかったが、意欲的な児童の姿が、データより読み取ることができる。                           | B       | 授業の明確な見直しをもたせ、自己評価の低い児童に寄り添いファシリテーション力を向上させる。    |          |
|       |  |                                 |  | 3 全教員が3項目取り組むことができた。             |    | 3  すすんで学習に取り組む…8割以上         |    |   |         |  |          |
|       |  |                                 |  | 2 全教員が2項目取り組むことができた。             |    | 2  すすんで学習に取り組む…7割以上         |    |   |         |  |          |
|       |  | 「自己選択・自己決定」で児童の学習意欲向上           | ・自己選択の場の設定<br>・自己決定の成功体験<br>・自分に合った目標設定<br>・自由学習への挑戦       | 4 全教員が4項目全て取り組むことができた。           | 3  | 4  学習していることが分かる…9割以上        | 4  | 児童の自己評価が高い状況が続いている。引き続き、意欲を高め、学力向上へ向けて取り組んでいく。                      | A       | 「自己選択・自己決定」の学習場面をさらに増やすことで児童の学習意欲を向上させる。         |          |
|       |  |                                 |  | 3 全教員が3項目取り組むことができた。             |    | 3  学習していることが分かる…8割以上        |    |   |         |  |          |
|       |  |                                 |  | 2 全教員が2項目取り組むことができた。             |    | 2  学習していることが分かる…7割以上        |    |   |         |  |          |
|       |  | 「振り返り」の工夫・充実で学びの自覚へ             | ・個→協→個の授業構成<br>・毎時間の学びの自覚<br>・確実な単元の振り返り<br>・ICT活用で振り返りの工夫 | 4 全教員が4項目全て取り組むことができた。           | 2  | 4  学習したことをしっかりと振り返っている…9割以上 | 3  | 8割程度の教員が3項目取り組んでおり、教員の意識の高まりが振り返りの成果指標に反映している。                      | B       | 振り返りをする工夫にICTの活用と授業の構成に意欲的に取り組んだ成果がみられる。         |          |
|       |  |                                 |  | 3 全教員が3項目取り組むことができた。             |    | 3  学習したことをしっかりと振り返っている…8割以上 |    |   |         |  |          |
|       |  |                                 |  | 2 全教員が2項目取り組むことができた。             |    | 2  学習したことをしっかりと振り返っている…7割以上 |    |   |         |  |          |
| 豊かな心  | 児童が自尊感情をもち、「安心基地(安心な環境)」の中で、自他を大切にしながら協働できる学校を創る。        | 全ての児童にとっての「安心基地・居場所」づくり         | ・SOSの出し方指導<br>・いじめの防止・早期解決<br>・相談しやすい環境<br>・個別の配慮・支援       | 4 全教員が4項目全て取り組むことができた。           | 3  | 4  学校で安心して学習・生活できている…8割以上   | 4  | 教員の意識、児童の評価ともに高まっている。今後も継続して安心基地となることができるようにしていく。                   | A       | WEBQUの結果を生かし児童の実態をより理解して、安心して学習できる環境づくりに努めていく。   |          |
|       |  |                                 |  | 3 全教員が3項目取り組むことができた。             |    | 3  学校で安心して学習・生活できている…7割以上   |    |   |         |  |          |
|       |  |                                 |  | 2 全教員が2項目取り組むことができた。             |    | 2  学校で安心して学習・生活できている…6割以上   |    |   |         |  |          |
|       |  | 互いに認め合い、自他を尊重する人権感覚の醸成          | ・友達の良いところ探し<br>・感謝を伝え合う関係作り<br>・道徳授業の質の向上<br>・優しい言葉の浸透     | 4 全教員が4項目全て取り組むことができた。           | 2  | 4  自分も相手も大切にしている…9割以上       | 4  | 児童の自己評価が9割を超えている。日常の学校での活動で繰り返し指導している成果が表れてきている。                    | A       | 振り返りをする工夫にICTの活用と授業の構成に意欲的に取り組んだ成果がみられる。         |          |
|       |  |                                 |  | 3 全教員が3項目取り組むことができた。             |    | 3  自分も相手も大切にしている…8割以上       |    |   |         |  |          |
|       |  |                                 |  | 2 全教員が2項目取り組むことができた。             |    | 2  自分も相手も大切にしている…7割以上       |    |   |         |  |          |
|       |  | 他者つながり、協働する喜びの実感                | ・挨拶・アイコンタクト<br>・児童間交流の充実<br>・児童会活動の充実<br>・多様な他者との関わり       | 4 全教員が4項目全て取り組むことができた。           | 2  | 4  みんなと一緒に活動することが楽しい…9割以上   | 4  | 児童の評価は高いが教員の評価は低い。より高いレベルを求めているとも捉えることができるため、更なる活動の充実を図ってきたい。       | A       | 挨拶を協力し合って日常的に交流できる喜びを感じる活動が充実するようにしている様子がわかる。    |          |
|       |  |                                 |  | 3 全教員が3項目取り組むことができた。             |    | 3  みんなと一緒に活動することが楽しい…8割以上   |    |   |         |  |          |
|       |  |                                 |  | 2 全教員が2項目取り組むことができた。             |    | 2  みんなと一緒に活動することが楽しい…7割以上   |    |   |         |  |          |
| 健やかな体 | 児童が自分の「心と体の元気」を感じながら、体力向上と健康について考え、実践する態度を育む。            | 運動する楽しさの実感と日常的な運動遊びの充実と体育授業改善   | ・運動遊びの充実<br>・元気アップガイドブック活用<br>・共成サーキットなどの取組<br>・体育授業の専門性向上 | 4 全教員が4項目全て取り組むことができた。           | 2  | 4  体力が付いてきている実感…9割以上        | 4  | 項目によっては取組の達成度の違いがある。元気アップガイドブックと共成サーキットについては、今後も周知と共通理解を促進させる必要がある。 | A       | 学校外の活動でも学年間の違いがなく、仲が良い。低学年は特に元気よく挨拶することができている。   |          |
|       |  |                                 |  | 3 全教員が3項目取り組むことができた。             |    | 3  体力が付いてきている実感…8割以上        |    |   |         |  |          |
|       |  |                                 |  | 2 全教員が2項目取り組むことができた。             |    | 2  体力が付いてきている実感…7割以上        |    |   |         |  |          |
|       |  | 望ましい生活習慣と安全な生活のための実践的態度の育成。     | ・家庭と連携したGM60分<br>・食育教育の充実<br>・安全指導の充実<br>・児童の危険回避能力向上      | 4 全教員が4項目全て取り組むことができた。           | 2  | 4  望ましい生活習慣が身に付いている…8割以上    | 4  | 児童の多くは、望ましい生活習慣や安全な生活ができていると評価しており、教員の意識も高まってきている。                  | A       | 家庭によって様々な考え方もあり、連携も大変だと思う。安心安全な学校環境をこれかも期待したい。   |          |
|       |  |                                 |  | 3 全教員が3項目取り組むことができた。             |    | 3  望ましい生活習慣が身に付いている…7割以上    |    |   |         |  |          |
|       |  |                                 |  | 2 全教員が2項目取り組むことができた。             |    | 2  望ましい生活習慣が身に付いている…6割以上    |    |   |         |  |          |
|       |  | しなやかで折れない心(レジリエンス)の醸成           | ・ハピネス・マインドの浸透<br>・心のもち方指導<br>・前向きな言葉かけ<br>・自尊感情の向上         | 4 全教員がハピネスマインドを意識した心のもち方を指導した。   | 3  | 4  困ったときに前向きな気持ちをもてる…8割以上   | 4  | レジリエンスについては、児童の評価と職員の評価には差がある。今後も日々の生活の中で自尊感情を高め、レジリエンスを育てていく。      | A       | 心を回復させる力は、いつも笑顔と優しい言葉かけができるように繰り返し向けることが大切だと感じた。 |          |
|       |  |                                 |  | 3 9割の教員がハピネスマインドを意識した心のもち方を指導した。 |    | 3  困ったときに前向きな気持ちをもてる…7割以上   |    |   |         |  |          |
|       |  |                                 |  | 2 8割の教員がハピネスマインドを意識した心のもち方を指導した。 |    | 2  困ったときに前向きな気持ちをもてる…6割以上   |    |   |         |  |          |
| 輝く未来  | 認め合いのある温かな集団の中で、児童が自己の良さを実感し、自己決定しながら、「なりたい自分」を目指す学校を創る。 | 児童が主体性に学校や学級をよりよくしようとする力の育成     | ・一人一人の活躍の場<br>・学級会活動の充実<br>・主体性を発揮できる行事<br>・共成会議、実行委員      | 4 全教員が児童の活躍の場と、主体性を促す指導をした。      | 3  | 4  学校や学級で役に立っている…8割以上       | 4  | 児童の多くは、自分が学校や学級の役に立っていると感じている。教員側の取組による成果が表れている。                    | A       | 児童一人一人が自分の役割を自覚しながら行動できることはすばらしいと思う。             |          |
|       |  |                                 |  | 3 9割の教員が児童の活躍の場と、主体性を促す指導をした。    |    | 3  学校や学級で役に立っている…7割以上       |    |   |         |  |          |
|       |  |                                 |  | 2 8割の教員が児童の活躍の場と、主体性を促す指導をした。    |    | 2  学校や学級で役に立っている…6割以上       |    |   |         |  |          |
|       |  | 温かく、共感的な人間関係に支えられた望ましい学級集団づくり   | ・ルールや規律の徹底<br>・挑戦できる学級風土<br>・QU結果の効果的活用<br>・SGE、SST、PAの活用  | 4 全学級担任が4項目を意識した学級経営を行った。        | 3  | 4  クラスは楽しい…9割以上             | 4  | 児童の多くが学級が楽しいと感じている。WEBQUで気になる児童の結果分析も参考にできていると思われる。                 | A       | クラスの楽しいという評価はすばらしい。子供たちのアイデアで運動会の種目を決めることはよい。    |          |
|       |  |                                 |  | 3 9割の学級担任が4項目を意識した学級経営を行った。      |    | 3  クラスは楽しい…8割以上             |    |   |         |  |          |
|       |  |                                 |  | 2 8割の学級担任が4項目を意識した学級経営を行った。      |    | 2  クラスは楽しい…7割以上             |    |   |         |  |          |
|       |  | 「なりたい自分」の実現に向け、自己選択・自己決定できる力の向上 | ・キャリアパスポートの活用<br>・自己選択の場の設定<br>・成功体験の積み上げ<br>・主体的行動への環境整備  | 4 全教員が児童の変容を認め、児童に伝え価値づけた。       | 3  | 4  自分で決めて行動できる…8割以上         | 4  | 多くの学級で自ら行う目標設定や振り返りを行っている。今後もキャリアパスポートを活用して継続的に進んでいく。               | A       | 振り返りができる余裕が自分で行動できる、決定できる力を、後押しできていると感じる。        |          |
|       |  |                                 |  | 3 9割の教員が児童の変容を認め、児童に伝え価値づけた。     |    | 3  自分で決めて行動できる…7割以上         |    |   |         |  |          |
|       |  |                                 |  | 2 8割の教員が児童の変容を認め、児童に伝え価値づけた。     |    | 2  自分で決めて行動できる…6割以上         |    |   |         |  |          |